

『永遠に存続する』

企業に寿命があると考えるのでなく、
永く存続させる努力を払いたい

(株)岡ガラス
代表取締役 岡 啓士郎さん

(株)岡ガラスを訪ねた。
工場に入って、さわやかな
気持ちになった。従業員の皆
さんがにこやかな顔で口々に
「こんにちは！」と語りかけて
くれる。笑顔がこぼれている。
職場の清々しい雰囲気は、
社長である岡さんの人となり
が反映しているように思える。
岡さんが大切にしているもの

は何だろうか。それは、コミュニ
ケーション。社員同士、現場
と事務所、そして仕入れ先、取
引先とのコミュニケーション
などである。
従業員全員でお話を学ん
だこともあった。新年会や忘
年会、結婚式などはみんなの
手作りで行う。
朝礼は土曜日と月曜日。

こうしたコミュニケーション
やその他の方針について毎回
二人の方がスピーチをする。
土曜日に反省点を、翌週の月
曜日に目標をスピーチするの
だ。社長自ら関連することを
話す。こうした繰り返しで、
一致した方向性が明確になっ
ていく。
岡さんはこう言う。「従業員



一人一人のレベルアップを図るように努めています。会社の利益はもちろんです。従業員の皆さんの人間形成に役立てばとの思いがあります。」と真摯に話される。確かにこの点、従業員の皆さんの笑顔や挨拶や職場の雰囲気によく表れていると思う。

さて、仕事の内容に話を移そう。岡さんは、今新たなやり方を模索している。今までのやり方すべてを一度否定して、新しい商品開発、新しい営業などに取り組んでいる。これは家具関連の仕事が減少している背景があるからだ。

新しい商品開発について、「中国やベトナムなどの海外では決して真似のできない商品作りを目指しています。」と岡さんは語る。どんな商品があるのだろうか。

一つは、木目を出した突板貼りガラス。これまで片面貼りと違って片面貼り。コストがいい。接着剤の問題があったが、突板メーカーと共同で完成させた。

そして、柄のある型板ガラ

スである。これは輸入物が強い。しかし、岡ガラスでは、クロス目の凸凹面にシルク印刷をする技術がある。融合させるのである。先日大川であった資材展では、こうした新商品が大変好評で、是非ウチに売らせてほしいとの声が上がった。さらに美しい布貼りガラスや飛散防止フィルム貼りのガラスなどの新商品がある。

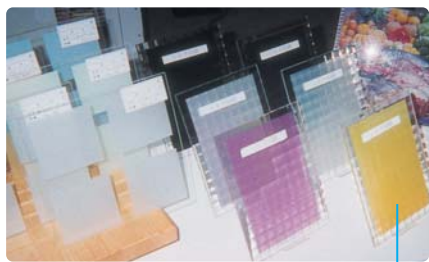
営業についてはどうだろうか。

「九月から本格的に取り組んでいくつもりです。関東、近畿、中国方面を回る予定です。業種としては建築ドア・ミラー等が中心になると思います。取引を増やすと言うことだけでなく、先方とのコミュニケーションを深め、ネットワークを構築するのがねらいです。長期的な利益を考えています。それに生の声を聞きたいとも思っているのです。要望や改善点を受け入れて、新商品開発に役立てたいと思っています。」

夢を聞いてみた。「私は『永遠に存続する』と言う言葉が好きです。ロマンを感じます。

会社経営にあてはめれば、難しい時代にあつて企業に寿命があると考えるのでなく、永く存続させる努力を払いたいと思いますね。後継者育成にも力を入れたいと思います。また今大川家具工業団地協同組合副理事長の立場を仰せつかつていますが、組合活動の面でも若い方が一緒に汗を流して、省くところは思い切って省き、価値あることを新たに打ち出して行けるように力を尽くしたいと思っています。」

新しい分野を求めています。コミュニケーションを大切にしながら・・・とてもいいことだと思う。



柄のある型板ガラス
クロス目の凸凹面にシルク印刷をする

飛散防止フィルム貼りのガラス

布貼りガラス

中国やベトナムなどの海外では決して真似のできない商品作りを目指している。



木目を出した突板貼りガラス